

長期総合計画策定にフューチャーデザインの
手法導入を

質問者 森 亘

10年先のまちづくりを、その次の世代へのバトンとして捉えて計画する「フューチャーデザイン」の手法を取り入れる自治体が注目されている。この手法は町の現状と財政状況、将来予測などを示した上で意見集約を図るもので、町民のまちづくりへの参加意識の醸成が成果として報告されている。現在、町は第5次長期総合計画策定に向けて準備を進めているが、町でもこのフューチャーデザインの手法導入を提言するが、町長の所見は。